

みらい

No. 3

主な内容

令和2年2月・6月議会
7月臨時会 要旨報告

討議資料

発行責任者／渡部 英治
編集責任者／東海林 洋

専菜・ジュンサイ
(あて字で純菜、順才)
スイレン目ハゴロモ科
英名：water shield

澄んだ淡水に自生。沼底に根を張り、スイレンと同様に水面に葉を浮かべる水草。茎の先端の新芽や若葉を摘み取る。ゼリー状(ムチンなど)のつるんとした独特のヌメリで厚く覆われ、国産品の国内生産量のおよそ9割を占める秋田ではおなじみの夏食材。6月を最盛期に収穫は4月下旬～9月上旬。

県民の安心・安全と県勢発展のため 全力で頑張ります!

秋田県議会
福祉環境委員会 委員長

佐藤 正一郎



皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、世界中に感染が拡大している新型コロナウイルスは、私たちの生活に大きな影響を与えています。移動の自粛や制限、人との接触を減らすという生活様式の見直しなどにより、経済活動も著しく低下しました。東京五輪・パラリンピックの延期、七夕絵どうろうまつりや西馬音内盆踊りが戦後初めて中止になるなど、前代未聞の出来事が続いています。

一人ひとりが感染予防対策に努めるとともに、地域の医療体制をしっかりと守り、何とかこの危機を乗り越えたいものです。

引き続き皆様からご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

地上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」配備計画を撤回

これまでの経緯

2017年11月

秋田、山口両県を配備候補地としていることが判明

2018年6月

小野寺防衛相が来県し配備への理解を求める

2019年5月

「新屋演習場において安全に配備・運用できる」との調査報告を発表

同 6月

岩屋防衛相が報告書のずさんなデータ問題を謝罪し、全候補地をゼロベースで再調査に

2020年6月

河野防衛相が配備計画の停止を巡り陳謝、国家安全保障会議で配備計画の撤回を決定

無謀だった配備計画

配備計画の撤回理由として河野防衛相は「ブースター(ミサイル推進力補助装置)を安全・確実に落下させるには、ソフト、ハードの両面で大幅なシステム改修が必要であり、コストと期間を考えると合理的でない」と説明しました。

候補地とされた新屋演習場は住宅地に隣接している狭い場所であり、当初から不安を抱く地元住民の反発を呼び、配備反対の声は全县に拡大。県議会でも佐竹知事に「新屋は無理だ」と表明するよう質してきました。しかし、イージス・アショアそのものが狭い国土の我が国では、安全を確保することが困難なシステムだとすれば言語道断。十分な検討が行われていなかった無謀な計画でした。

「秋田と山口に配備できれば日本全域を24時間、365日守り続けることができる」という言動で、県民を翻弄してきた政府・防衛省に振り回された2年半。計画撤回に安心しました。

2月議会

令和2年・第1回定例会
2月14日～3月19日

令和2年度当初予算は、重点施策推進方針を踏まえ、折り返しを迎える「第3期ふるさと秋田創造プラン」の更なる加速化を図るための施策を重点的に推進することを基本に計上し、秋田の将来にとって希望の種となる「未来への投資」を、県内経済の自立的な成長力である「稼ぐ力」への投資、高質な田舎を実現するための原動力である「人」への投資、県民のあらゆる活動の基盤である「健康・安全・安心」への投資の3つの視点から推進する。

当初予算の主な内容

- **稼ぐ力への投資**
 - ① 県外からの資金の流れの強化
 - 新 秋田の伝統芸能魅力発信事業 …… 2,655万円
 - ② 生産性の向上
 - 新 製造業向けIoT導入実践事業 …… 190万円
 - ③ 県外・国外への展開
 - 新 次世代につながる水田農業総合対策事業 …… 7億5,653万円
 - ④ インフラの強化
 - 新 秋田港アクセス道路整備事業 …… 5億6,716万円
- **人への投資**
 - ① 自然減・社会減の抑制
 - 新 結婚に希望をもてる社会づくり推進事業 …… 1,904万円
 - ② 人材の確保・育成
 - 新 ふるさとあきた 高校生将来設計支援事業 …… 8,273万円
 - ③ 若者への支援
 - 新 若者活躍プラットフォーム構築事業 …… 452万円
 - ④ 女性、高齢者、障害者等の活躍
 - 障害者スポーツ振興事業 …… 4,789万円

令和2年度 一般会計 当初予算
5,794億 1,400万円

- **健康・安全・安心への投資**
 - ① 医療・介護・福祉ニーズへの対応
 - 新 難病等医療提供体制推進事業 …… 693万円
 - ② 防災・減災対策
 - 生活基盤施設耐震化等交付金事業 …… 10億 849万円
 - ③ 環境の保全
 - 新 守れ、活かせナラ林若返り促進事業 …… 2,359万円
 - ④ 生き生きと暮らせる地域社会づくり
 - 新 あきた芸術劇場開館準備事業 …… 3,607万円

2月議会 代表質問

渡部 英治 [大仙市・仙北郡]

- ◆ 幸福度ランキングから見た「幸福な田舎」と「高質な田舎」について
- ◆ 知事の任期と政治手腕について
- ◆ イー・アショアについて
- ◆ 人口減少対策について
- ◆ 地方創生と農学部誘致について
- ◆ 農業政策について



2月議会 一般質問



三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 新スタジアム整備について
- ◆ 若者支援と高齢者支援について
- ◆ 中小企業の振興について
- ◆ 里親委託の推進について



吉方 清彦 [能代市・山本郡]

- ◆ 地域医療構想について
- ◆ 介護保険制度について
- ◆ イー・アショアについて
- ◆ 洋上風力への県民理解について

2月議会 総括審査

三浦 英一 [由利本荘市]

- ◆ 特色ある高校づくりについて
 - ・ 公立高校入試の志願倍率について
 - ・ 県外からも志願者が集まる魅力ある学校づくりについて



東海林 洋 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ・ 県の組織体制について
 - ・ 感染拡大防止対策について
 - ・ 社会生活等への影響について
- ◆ イー・アショアについて
- ◆ 県・市連携文化施設の整備財源について



鳥井 修 [秋田市]

- ◆ 有事の際の危機管理について
 - ・ 新型コロナウイルスについて
 - ・ 自然災害時の感染症対策について
- ◆ エネルギー政策について
 - ・ 再生可能エネルギーの導入拡大について
 - ・ 水素エネルギーについて



6月議会

令和2年・第1回定例会
6月12日～7月7日

今回の補正予算は、新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略に係る事業など「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、公共事業等について計上しました。

6月補正予算の主な内容

●CSF等緊急防疫対策事業 4,731万円

CSF(豚熱)等の防疫対策として、農場周囲に野生イノシシ等侵入防止用の防護柵を設置する養豚経営体に対し助成する。

●新南児童相談所移設改修事業 …………… 2,983万円

児童福祉法改正に伴う児童福祉司等の職員配置基準の見直しにより、児童相談所職員を計画的に増員する必要があるため、増員により執務スペースが不足する南児童相談所の移設及び改修工事を行う。

●運転免許試験及び免許証作成業務事業 768万円

道路交通法の一部改正による妨害運転(あおり運転)に対する罰則の創設等に伴い、総合運転者管理システムを改修する。

令和2年度 一般会計 補正予算 **131億2,145万円**
補正後の規模 **6,388億 7,411万円**

●新アウトドア・アクティビティによる真木真昼魅力創生事業 …………… 412万円

地域の賑わい創出や活性化につなげるため、様々な媒体を通して、自然公園におけるアウトドア・アクティビティの魅力を発信する。

●私立専修学校・各種学校運営費等補助金 …………… 2,254万円

保護者の経済的負担の軽減を図るため、就学に係る支援金を支給するとともに、教科書費・教材費・学用品費等の必要経費を給付する。

6月議会 一般質問



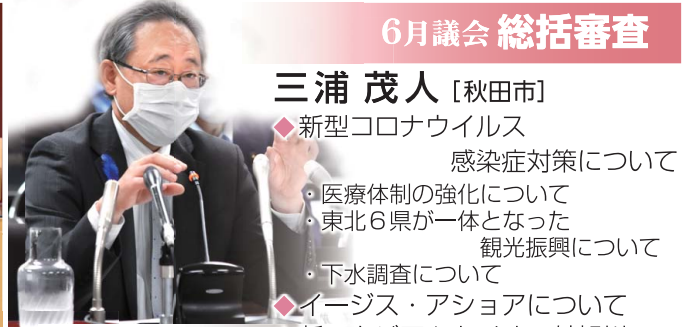
佐藤正一郎 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆新型コロナウイルスの感染予防と医療体制について
- ◆新型コロナウイルスの県内経済への影響と中長期の対応について
- ◆イージス・アショアの配備プロセスの停止について
- ◆第七次秋田県高等学校総合整備計画について
- ◆国家賠償請求事件と警察の業務について

鳥井修 [秋田市]

- ◆新型コロナウイルス感染症への対応について
- ◆次世代自動車産業の育成と普及拡大について
- ◆精神障害者の地域移行について

6月議会 総括審査



三浦茂人 [秋田市]

- ◆新型コロナウイルス感染症対策について
- ◆医療体制の強化について
- ◆東北6県が一体となった観光振興について
- ◆下水調査について
- ◆イージス・アショアについて
- ◆新スタジアムとイオン外旭川開発計画について



吉方清彦 [能代市・山本郡]

- ◆新型コロナウイルス感染症の農業・漁業への影響について
- ◆能代地区専門系統合校の名称について
- ◆旧能代産業廃棄物処理センターの掘削について

県政協議会



土谷勝悦

[横手市]

7月17日 県政協議会にて、新型コロナウイルス感染症対策について、質す。

臨時会

令和2年・第1回
7月21日・22日

7月補正予算の主な内容

①感染拡大防止策と医療提供体制の整備

●感染症指定医療機関等運営費補助金 …………… 21億6,950万円

新型コロナウイルス感染症患者の受入れに要する専用の病棟や病床を確保する場合に、空床に係る病床確保経費を助成する。

②雇用の維持と事業の継続、県内経済の下支え

●新ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業 8,603万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、低所得のひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給する。

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症への対応に要する経費について計上しました。

令和2年度 一般会計 補正予算 **145億6,350万円**
補正後の規模 **6,534億 3,762万円**

③経済活動の回復・地方創生に向けた新たな取組

●新「過密を避け秋田へ」人の流れ拡大事業 … 1億6,256万円

リモートワーク等の新しい働き方を活用した人材誘致という新たな視点を取り入れながら、首都圏等において秋田暮らしの魅力を強くPRし、本県への人の流れを拡大する取組を展開する。

佐藤正一郎の 県議会レポート



6月県議会では県政の喫緊の課題である「新型コロナウイルスの感染予防と医療体制」、「県経済への影響と中長期の対応」。急ぎよ発表された「イージス・アショアの配備プロセスの停止」。策定作業中の「第七次秋田県高等学校総合整備計画（後期計画）」。県民の関心が高い「国家賠償請求事件と警察の業務」について一般質問を行いました。

◆ 一般質問（抜粋）

問 今後の新型コロナウイルス感染予防対策と生活様式の在り方、県が行う措置はどうなるのか。

知事 県民の健康と生命を守ることを最優先に全県域を対象に不要不急の外出自粛や休業要請を行ってきた。当面は手洗いや三密（密閉・密集・密接）の回避など基本的な対策を続けていく必要がある。今後は網羅的な措置ではなく、実効性のある対策を集中的に実施するのが望ましい。

問 防衛大臣は6月15日、地上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画を停止すると表明した。今後の展開にどのように対応するのか。

知事 配備計画の停止は当然のことと考える。今後は国家安全保障会議で議論されることになっており、防衛省の動向を引き続き注視していく。

国は6月24日に国家安全保障会議を開き、「イージス・アショア」を秋田市の陸上自衛隊新屋演習場と山口県のむつみ演習場に配備する計画を、白紙撤回することに決定しました。

問 秋田市の弁護士が自宅で刺殺された事件を巡り遺族が損害賠償を求めている訴訟で、警察官の過失が認定された。この事案から何を学び、今後の警察業務にどう活かしていくのか。

警察本部長 大変重く受け止めている。事件後に行った検証結果に基づき、再発防止対策として特殊な環境を想定した訓練、装備資機材の活用、通信指令機能の充実強化等に取り組んできた。どのような現場対応でも県民を守ることができるよう努めていく。

「元気な秋田」を創造しよう!!
<https://www.sho-ichiro.net/>

さとう正一郎ホームページ

さとう正一郎

検索



佐藤 正一郎氏
(みらい・湯沢市雄勝郡)

◆新型コロナウイルス感染症の県内経済への影響と中長期の対応は。
知事 県内経済動向調査によると、4月の旅館・ホテルの売上高は前年同月比で72%減となったほか、幅広い分野で影響を受けている。宿泊業や飲食業を対象にプレミアム券を発行し、県内経済

中長期の経済対応は

の循環を促進することで、各分野の事業継続を支援している。
◆第七次県高校総合整備計画での小規模校の整備方針について考えを伺いたい。
教育長 高校が若者を育てるとともに、コミュニケーションを支える場であることを重視し、小規模校の在り方について見直しを行っている。入学者の減少が続く場合は、必要に応じて地域の方々が参加する協議会を設けるなどして、学校の活性化や今後の在り方について検討していく。

令和2年6月19日付 秋田魁新報「県議会一般質問」より